



多くの入居者が不満に感じている 「収納の少なさ」を解決する

面積の限られた賃貸住宅では、どうしても収納スペースが不足しがち。
空室対策としても、入居者の満足度向上のためにも、収納力の確保は大切です。

収納力不足への手軽な対策

入居者アンケートでもっとも不満が多い項目の1つ、収納力不足。

賃貸住宅では普通、壁に釘を打ったり、ネジを差し込むことは禁止です。入居者は自分ではフックもつけられないため、予めオーナーさんが収納具などを取り付けておくと大変喜ばれます。

横板だけの棚なら手軽に収納を増やせ、工事費用もわずかで済みます。室内のあまり利用されていないデッドスペースのような空間が狙い目。たとえば設計の関係で壁に窪みができているなら、そこに板を渡して棚にトイレの上や、洗面台の上に収納棚があればとても便利。特にキッチン回りは、調味料が置ける程度の狭いスペースでも、棚があると重宝しま

す。

壁の天井近くもデッドスペースなので、イケアなどでも売っている壁掛けタイプの棚を取り付けると有効利用できます。ただ壁の材質や柱の有無によって、取り付けできない場合もあるので、施工会社やリフォーム会社などに確認しましょう。

隠す収納から、見せる収納へ

より本格的な収納対策として、壁の一面すべてを棚にすることも。その場合、扉や引き戸付きの棚にしてしまうと部屋が狭く感じられてしまうので、横板があるだけの、陳列棚スタイルをお勧めします。かつての収納は押入れやタンスなど、中身が見えないように「隠す」収納でしたが、最近ではむしろ中身をそのまま「見せる」収納が好まれています。服や

カバンなどお気に入りのグッズを、空間を飾るように並べておくことで、部屋にすること自体が楽しくなってくるのです。

置く収納から、吊るす収納へ

ハンガーパイプを壁に取り付けられ、服や鞆など、なんでも吊るせば、服や鞆など、なんでも吊るせば、壁が収納スペースに早変わり。パイプではなく棒板を壁につければ、板の上にお気に入りの小物やCDを並べるといった使い方もでき、生活が楽しくなります。

また、一面に穴の空いた有孔ボードを玄関などに設置すると、穴にフックをひっかけて、いろいろなものを吊るせて便利です。

押入れよりクローゼット

女性を中心に入居者ニーズが強い

ポイント

- フックやハンガーパイプを取り付け吊るす収納で収納力アップ
- 「見せる」収納で見た目の部屋の広さも維持！
- クローゼットや大型シューズケース、余裕があれば屋外物置を！

POINT

のが、クローゼット。服をしまうスペースに困っている人は多く、「部屋が狭くなってもクローゼットはあったほうが良い」という声が多いのです。洋服を吊るすためのスペースという意味なら、押入れを改造してハンガーパイプを通すだけでも役に立ちます。

シューズケースは大型に

女性には靴をたくさん持っている人も多いので、シューズケース（下駄箱）も大型のものが喜ばれます。作り付けのシューズケースが小さなものだったら、たくさんさんのブーツもそのまま置けるような大きなものに作り変えるとよいでしょう。

室外に物置を設置

アパートやマンションを1棟持つていて、敷地に空きスペースがあるなら、空いたところに物置を設置し、入居者が使えるようにすると喜ばれます。賃貸住宅で暮らしていると、普段使わない物の置き場所にも困るもの。とにかく収納は、多い方がありがたいのです。トランクルームのように有料で貸しているオーナーさんもいるようです。



女性が大喜びの、クロゼットが3つもある部屋。配色も鮮やかで、住む人が元気をもらえる。

壁の一面をすべて収納に。扉がないので部屋が広く感じられ、色も爽やかで心地よい。

写真提供：東京R不動産 株式会社スピーク
撮影：大倉英揮（黒目写真館）



写真提供：株式会社クラスコ（旧社名：タカラ不動産）

可動式の見せる収納棚。棚の下にはベッドが置ける空間。



部屋のコーナーや柱の上に棚を設置。好きなものを飾れて楽しい。



押入れを改造してクロゼットに。扉を撤去することで部屋が広く感じられる。



玄関横の有孔ボードはなんでも吊るせて便利。



ハンガーパイプなどを利用した吊るす収納は、部屋を狭くせず、便利でもあり、視覚的にも楽しい。



写真提供：lives by 西村建設株式会社